

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 4 月 7 日 (2011.4.7)

【公開番号】特開 2008-94805 (P2008-94805A)

【公開日】平成 20 年 4 月 24 日 (2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報 2008-016

【出願番号】特願 2006-281218 (P2006-281218)

【国際特許分類】

C 0 7 C 67/08 (2006.01)

A 2 3 L 1/20 (2006.01)

C 0 7 C 69/73 (2006.01)

B 0 1 F 17/42 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 67/08

A 2 3 L 1/20 1 0 6 A

C 0 7 C 69/73

B 0 1 F 17/42

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 18 日 (2011.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リシノール酸を重縮合反応させて縮合リシノール酸を得る工程 (I) と、工程 (I) で得られた縮合リシノール酸とポリグリセリンとをエステル化反応させる工程 (II) とを有するポリグリセリン縮合リシノール酸エステルの製造方法であって、工程 (I) で得られる縮合リシノール酸が、下記式 (1) から求められる高分子量比が 1 以上の縮合リシノール酸である、ポリグリセリン縮合リシノール酸エステルの製造方法。

$$\text{高分子量比} = S1 / S2 \quad \text{式 (1)}$$

S1 : 縮合リシノール酸のゲル・パーミエーション・クロマトグラフィーによるポリスチレン換算分子量分布における分子量が 2000 以上に相当するピーク面積

S2 : 縮合リシノール酸のゲル・パーミエーション・クロマトグラフィーによるポリスチレン換算分子量分布における分子量が 100 以上 2000 未満に相当するピーク面積

【請求項 2】

工程 (I) でのリシノール酸の重縮合反応の反応時間が 2 ~ 20 時間である 請求項 1 記載のポリグリセリン縮合リシノール酸エステルの製造方法。

【請求項 3】

ポリグリセリン縮合リシノール酸エステルが、豆腐用凝固剤の乳化剤用である請求項 1 又は 2 記載のポリグリセリン縮合リシノール酸エステルの製造方法。